

農山漁村発イノベーション人材育成研修会等開催要領

1 趣旨

農山漁村発イノベーション事業体の経営改善や農山漁村発イノベーションとしての付加価値向上等の諸課題に対処し、経営感覚を持って農山漁村発イノベーションに取り組む人材を育成するための研修会を開催する。

2 開催内容 ※変更する可能性があります。

(1) スタートアップ講座

日程		内 容	
7/29 (金)	13:30～ 15:30	基調講演	第1部 「地域の新たな可能性：知っておくべき、農山漁村イノベーション・5つのお約束」 (一社) 日本地域イノベーション研究機構 代表理事 藤澤 直武 氏 第2部 「ココロを動かす地域のイノベーションデザイン」 地域活性クリエイター 上田 和美 氏
	15:30～ 16:00	農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業の募集	・経営改善戦略策定事業者の募集 ・講習会参加者の募集

- (2) 講習会 (60分) 講師による各テーマの基礎知識、必要性、経営に取り入れる手法等の紹介
ワーキング (60分) 講師のアドバイスを受けつつ自身の経営における各テーマの解決策等の検討

日程		テーマ	講演	ワーキング
11/1 (火)	10:00～ 12:00	イノベーションを知る	「イノベーションって何？」 ・イノベーションの理論と農林水産業での事例を紹介する。	イノベーション演習 ・事例を基にイノベーションについて可能性を考える。 オズボーンの9つの切り口等をもとに、イノベーションについての理解を深めます。
	13:00～ 15:00		商品開発演習 I ・イノベーションの視点で商品開発を行うポイントを紹介する。 演習カード「ろくじる」を使用して、イノベーションのスキル向上を図ります。	新商品・サービス開発演習 ・午前、午後を通じて得た、新たな気づきの共有 農林漁業の連携メリットが体験できるような内容とします。
11/15 (火)	10:00～ 12:00	イノベーションを起こす	地域資源の活用とブランド戦略 ・地域資源を明確にして活用する手法とメリットを解説する。 地域資源洗い出しシートを使用して、参加者が各地域についての魅力を再認識します。	地域資源活用演習 ・「地域資源の見つけ方」を習得し、参加者同士の外部の視点で検証する。

	13:00～ 15:00		商品開発演習Ⅱ イノベーションの視点で商品開発、地域づくりを行うポイントを紹介する。 ・イノベーション事例紹介 ・事業における新たな視点の持ち方、ポイント	競合分析・差別化演習 ・事例や自らのテーマを基に商品/サービスの差別化に取り組む演習を行います。 *現在計画している事業アイデア等のブラッシュアップを行います。
11/29 (火)	10:00～ 12:00	イノベーションを 実行する	マーケティング理論 「マーケティングって何？」 ・マーケティングの理論と事例を紹介する。	ケースメソッド ・ケース教材を基に、マーケティングミックスの視点を強化するディスカッションを行う。 (慶應ビジネススクールの教材を使用)
	13:00～ 15:00		商品開発演習Ⅲ 販路開拓に向けた競合分析と差別化 ・商品の強みをはっきりさせるためのポイントを解説します。 ・エレベータピッチ：全体の講演を通じて、自らが設定したテーマについて発表する。	全体の振り返り ・研修で得たもの ・これからの課題と解決法等、成果の振り返り ・講師からのアドバイス

3 講師

(一社) 日本地域イノベーション研究機構 代表理事 藤澤 直武 氏

食の6次産業化プロデューサーレベル4 (全国で約50人)、中小企業診断士、MBA修了。

慶応ビジネススクールでケースメソッドを学び地域の農商工関係者の人材育成に貢献。

食の6次産業化プロデューサー認定対応講座(レベル1～3)の企画、講師、審査を務める。

地域活性クリエイター 上田 和美 氏

東京ビジネスデザインアワード2021 優秀賞、コクヨデザインアワード2022 優秀賞&オーディエンス賞、読売広告大賞部門賞、ニューヨークフェスティバル広告部門入賞等多数。

ベテランクリエイターが地域活性化分野に進出、「太陽と笑顔」メンバーとして瀬戸内圏で活躍中。

4 場所

広島県立総合技術研究所農業技術センター (広島県東広島市八本松原 6869)

5 参加者

農山漁村発イノベーション事業体

市町等関係団体 (スタートアップ)

広島県農林水産局販売・連携推進課

広島農山漁村発都道府県サポートセンター